

＜相談支援部会：今年度事業計画解説および進捗状況について＞

1. がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備
 - ①患者必携の配布や内容の見直し、相談支援センターのチラシを作成・配布する。
 - 7月中旬に3拠点病院（県立中部病院、那覇市立病院、琉大病院）相談支援センターの案内ポスター、チラシ、リーフレットを作成。現在、3拠点病院と北部地区医師会病院（平成21年度がん診療拠点病院）へは配布済み。
 - ②インターネットを利用した患者・がん相談実務者向けがん情報を発信する。協議会ホームページにて各拠点病院ホームページ及びがん情報（「アスベスト関係の相談窓口集」等）のリンク先を追加する。
 - 協議会ホームページにて各拠点病院及びがん情報に関する情報のリンク先を追加した。アスベスト関係の相談窓口集等についても掲載予定。

2. 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備
 - ①5大がん地域連携クリティカルパスの始動にあたり、地域ネットワーク部会と連携し各医療機関の診療体制等について情報収集を行う。
 - 5大がん地域連携パワーキンググループを設置され、その中で全体的な運用方法を決定された。現在、各施設で院内体制を構築中。「がん治療連携計画策定料」算定のため連携施設の勧誘や施設基準の届け出書類を作成している。

3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備
 - ①がん相談実務者研修会で、合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する。
 - 未実施

4. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備
 - ①沖縄県と協力し、がん診療支援病院である（宮古病院、八重山病院）に依頼し、医師を対象としたセカンドオピニオンアンケート調査を行う。
 - 未実施
 - ②セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて、先進事例等の情報収集、ニーズ調査を行う。
 - 未実施

5. がん患者の療養上の相談体制の整備
 - ①拠点病院やがん診療支援病院及びがん診療を行っている病院にて共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。
 - 緩和ケア部会と連携し、「緩和ケア情報シート」を作成した。現在、オリブ山病院、

アドベンチストメディカルセンター、南部病院、沖縄病院の4医療機関へ配布済。

②がん診療支援病院制度、常勤MSWの配置について沖縄県に提言及び支援を求める。

➤ 沖縄県がん対策アクションプランにて、「がん相談支援室の環境整備・人材育成」について提言済。

6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備

①がん相談実務者研修会で、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修する。

➤ 未実施

7. (その他相談支援に関すること) 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

①沖縄県内の患者会リストを作成し、各患者会へ協議会ホームページへの掲載やリンクを提案する。

➤ 現在協議会ホームページのリニューアルに伴い、各患者団体へ患者会紹介シートの記入を依頼中。(一部)患者団体のみ掲載済。

②各拠点病院における医療職・看護職へピアサポートの普及啓発を図る。

➤ 未実施

③垣根を越えたがん種別患者会連合会結成への支援と沖縄県からの支援を求める(県内各福祉保健所の会場提供・広報等)。

➤ 未実施

平成21年度事業の行動計画

no.	事業名	事業内容	担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
	【全体イベント】			ゆんたくく会 5/17 幹事会 ゆんたくく会	ゆんたくく会 協議会 講演会 6/13 タウンミーティング	ゆんたくく会 協議会 講演会 9/4 タウンミーティング	ゆんたくく会 8/16 幹事会 ゆんたくく会	ゆんたくく会 協議会 講演会 9/3 タウンミーティング	ゆんたくく会 協議会 講演会 11/20 タウンミーティング	ゆんたくく会 10/25 幹事会 ゆんたくく会	ゆんたくく会 協議会 講演会 11/19 タウンミーティング	ゆんたくく会 12/8 実務者研修 会 12/17	ゆんたくく会 1/17 幹事会 ゆんたくく会	ゆんたくく会 2/4 協議会 講演会 2/5 タウンミーティング	ゆんたくく会 3/18 部会		
	【部会イベント】			4/14 実務者研修 会 4/27 部会	5/19 実務者研修 会 5/21 部会	6/9 実務者研修 会 6/18 部会	7/14 実務者研修 会 7/16 部会	8/11 実務者研修 会 8/20 部会	9/8 実務者研修 会 9/17 部会	10/13 実務者研修 会 10/22 部会	11/17 実務者研修 会 11/19 部会	12/8 実務者研修 会 12/17 部会	1/12 実務者研修 会 1/21 部会	2/9 実務者研修 会 2/18 部会	3/18 部会		
1	がんの病態、標準的治療方法等のがん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備	①患者必携の配布や内容の見直し、相談支援センターのチラシ作成と配布 ②インターネット上へ患者・がん相談実務者向けがん情報を発信する。協議会HPにて各拠点病院及びがん情報のリンク先を追加する。	西田				①相談支援センターのチラシ完成										
2	診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備	①5大がん地域連携クリエイトパスの始動にあたり、地域ネットワーク部会と連携し各医療機関の診療体制等について情報収集を行う。	西田				現在、各施設で院内体制について構築中。										
3	地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん診療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備	①がん相談実務者研修会で合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する。	樋口														
4	セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備	①県と協力し拠点病院に依頼し医師を対象としたセカンドオピニオンアンケート調査を行う。 ②セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて先進事例等の情報収集、ニーズ調査を行う。	金城														
5	がん患者の療養上の相談したいせいの整備	①がん診療をおこなっている病院にて共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様支援・連携を図る。 ②拠点病院制度、勤務MSWの配置について県に提言及び支援を求める。	樋口														
6	アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備	①がん相談実務者研修会で「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修する	樋口														
7	（その他相談支援に関すること）相談に關し十分な経験を有するがん患者団体との連携体制の構築	①県内の患者会リストを作成し、協議会HPへ掲載、または患者会HPとリンクを張る。 ②各拠点病院における医療職・看護職へピアサポーター普及啓発を図る。 ③がん種別患者会連合会への支援と県からの支援を求め	田名 玉城 崎浜														

②現在、協議会ホームページリンク集にて各拠点病院及びがん情報について掲載中

平成21年3月に4拠点病院にて医師を対象としたセカンドオピニオンアンケート調査を

①5月より「緩和ケア情報シート」の運用開始

②沖縄県がん対策アクションプランにて、「がん相談支援室の環境整備・人材育成」について提言済。

①8月より協議会ホームページがリニューアルし（一部）沖縄県がん患者連合会参加団体の紹介文

平成 22 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 21 年 5 月 25 日（火） 15:00～17:00
 場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
 出席者： 6 名 玉城徳正（患者遺族）、崎浜海里（マインドケアおきなわ）
 樋口美智子（那覇市立病院）、金城尚美（沖縄県立中部病院）
 増田昌人、西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）
 欠席者： 田名勉（友声会：患者）、山川宗貞、前川守秀（沖縄県医務課）
 仲村実和子（北部地区医師会病院）4 名
 陪席者： 1 名 城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 22 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. 委嘱状授与

増田委員より、平成 22 年度沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会委員として崎浜海里氏へ委嘱状が授与された。

2. がん患者ゆんたく会について

資料 2-2、2-4 に基づき、4 月に各拠点病院にて開催されたがん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。その中で、参加者の性別・がん種については極力記入してもらう様、呼びかけがあった。

（那覇市立病院、北部地区医師会病院に関しては資料未提出であった）

3. がん相談件数

資料 3 に基づき、樋口部会長より 4 月のがん相談件数について報告が行われた。

北部地区医師会病院	<u>未報告</u>
沖縄県立中部病院	<u>7 件</u>
那覇市立病院	未報告
琉大病院	<u>0 件</u>

4. 平成 22 年度第 1 回がん相談実務者研修会

資料 4 に基づき、5 月 19 日（水）におもと会とよみの杜にて「平成 22 年度第 2 回がん相談実務者研修会」が開催された。今回は一般向け DVD を視聴し、参加人数は約 10 名であった。

5. 緩和ケア診療情報シートについて

資料 5 に基づき、緩和ケア情報シートの運用について、今回の第 1 回協議会審議事項第 5 議案として取り上げ、協議会内で承認を得た上で、改めて運用について各施設長宛に依頼する事が承認された。

6. その他 「患者必携」渡邊班会議について

資料 6 及び別紙資料に基づき、5 月 20 日、21 日に国立がん研究センターにて開催された厚生労働科学研究費補助金（第 3 次対がん総合戦略研究事業）「患者・家族・国民の視点に立った自立支援型がん情報の普及のあり方に関する研究」（対がん必携渡邊班）について、参加した増田センター長、西田委員より各都道府県の試験配布報告と、必携完成版に向けた今後の方針、また、当院での試験配布の方針について報告と説明があった。

先ず、茨城県、栃木県の 2 県に関しては共に医療関係者・患者さんの患者必携に対する関心・評価は高かった。静岡県は医療関係者のみアンケート調査を実施し、医療者・患者の双方に役にたつと評価。また、各県ともに患者必携の周知や、普及させるにあたって支援体制整備をどのように行うかが今後の課題として検討されている。

全体として完成版に向けた方針（案）では、「がんになったら手にとるガイド」のサイズ変更 A4→A5（文字サイズはそのまま）、各がん腫の療養情報の分冊化、用語集・患者さんの手帳を追加、地域療養情報の作成については都道府県に委ねることとしている。今後の配布に向けた方針（案）は、配布体制が整った拠点病院から配布を開始する予定。（平成 22 年度後半を想定）地域の療養情報と配布施設に関しては、基本的に各都道府県単位で決定していくことが伝えられた。

【協議事項】

1. 「患者必携」改訂版について

別紙資料と報告事項 6 の渡邊班会議の報告内容に基づき、増田委員より、沖縄版地域療養情報の改訂版を 9 月中に作成し、10 月 1 日より院内にて一外、産婦人科、一内を対象とした試験配布を行う計画が伝えられた。さらに、改訂版については、相談支援部会にて再度情報の精査を行い、「離島圏内で対応可能な治療」についても情報を追加することが検討された。以下は、院内の試験配布における方針についてまとめたものである。

- ・試験配布時期：本年 10 月 1 日
- ・配布予定：50 名
- ・配布患者：消化器、呼吸器、乳腺、婦人科がん

- ・配布タイミング：がんと診断されて紹介された場合は初回受診時、それ以外は診断された時。
- ・配布方法と場所：担当医が外来で配布

2. がん相談支援員実務者研修会予定について

資料7に基づき、今年度開催予定のがん相談支援員実務者研修会へ離島圏（宮古・八重山）の医療機関にも参加してもらえるよう、研修会の情報発信や、離島圏での研修会開催も視野に入れて検討することが協議された。その第一段階として、現在活用しているがん相談支援員実務者ネットワークメーリングリストに新たに県立宮古病院と県立八重山病院を追加することが承認された。今後、正式な依頼文書を送付し、承認を得た時点で追加を予定。

3. 「おきなわがんカウンセリング養成講座（保坂プロジェクト）」について

情報提供として樋口部会長より、おきなわがんカウンセリング講座の事務局「沖縄がん心のケア研究会」が新たに設置され、毎月1回東海大学 保坂隆教授を招き研究会を開催することが報告された（6月19日後半はカラー・アートセラピーのワークショップ）。また6月19日前半は、沖縄県がん患者会連合会と那覇市立病院共催で「がん患者と家族のための特別講演会」を開催することが報告された。

4. がんサポートチャリティライブ企画（唄者：上間綾乃氏）への協力依頼について

樋口部会長より、唄者である上間綾乃氏より、がん患者さんへの寄付を目的としたチャリティライブ企画への協力依頼があり、今後情報交換を行い協力することが報告された。

5. 那覇市立病院提供「FM レキオ カリーオブライフ」患者サロン・患者会の紹介について

現在、毎週月曜日の17:00～18:00（4月～9月）に放送中の那覇市立病院提供FMレキオカリーオブライフのラジオ番組にて各拠点病院で開催されている講演会や患者サロン・各患者会からのお知らせ等を紹介してはどうかとの提案があり、今後情報提供を行うことが承認された。

次回の部会日程について・・・事務担当者より、メーリングリストにてお知らせすることが伝えられた。

平成 22 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 21 年 6 月 25 日（金） 15:00～17:00
 場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
 出席者： 4 名 田名勉（友声会：患者）、玉城徳正（患者遺族）、
 樋口美智子（那覇市立病院）、西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）
 欠席者： 6 名 崎浜海里（マインドケアおきなわ）
 山川宗貞、前川守秀（沖縄県医務課）、金城尚美（沖縄県立中部病院）
 仲村実和子（北部地区医師会病院）増田昌人（琉球大学医学部附属病院）
 陪席者： 1 名 城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 22 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（5 月）
 資料 2-2、2-4 に基づき、5 月に各拠点病院にて開催された中部病院及び沖縄がん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。
2. がん相談件数
 資料 3 に基づき、樋口部会長より 5 月のがん相談件数について報告が行われた。

北部地区医師会病院	未報告
沖縄県立中部病院	<u>1 件</u>
那覇市立病院	未報告
琉大病院	<u>5 件</u>
3. 拠点病院相談支援センターポスターについて
 資料 4 に基づき、昨年度より作成中であった拠点病院相談支援センターポスターの最終調整が行われた。ポスターには「平成 21 年度現在」と明記し、北部地区医師会病院を含めた 4 拠点病院で作成されることが承認された。また、配布先については、拠点病院、各市町村、がん診療をおこなっている医療機関等などが挙げられた。
4. がん相談支援員実務者ネットワークについて
 資料 5 に基づき、西田委員より新たに県立八重山病院と県立宮古病院、琉大病院（松岡栄二相談員）が、がん相談支援員実務者ネットワークへ追加された事が報告された。また、宮古徳洲会病院、八重山徳洲会病院、沖縄病院、浦添総合病院へも依頼する事が承認された。

5. その他

- ① 樋口部会長より、6月19日に開催された「おきなわがんカウンセリング養成講座（保坂プロジェクト）」について、参加者が70名であったことが報告された。
また、6月21日に放送された那覇市立病院提供ラジオ番組「FMレキオ カリーオ ブライフ」にて各患者会の代表者が出演し、各患者会の紹介や今後予定している講演会について広報された。
その他、(唄者：上間綾乃氏)より依頼のあった「がんサポートチャリティライブ」の企画についても、引き続き情報交換を行う事となった。
- ② 西田委員より、6月10日～11日に行われた「第12回 医療マネジメント学会学術総会」での発表について報告があった。発表内容は、「沖縄県におけるがん相談の現状について」であり、その中で現在各拠点病院でのがん相談件数のカウント方法が、それぞれ異なるため、今後の課題として相談マニュアルの整備する事が必要であり、次回の部会で検討したいとの報告があった。

【協議事項】

1. 「患者必携」改訂版について

資料6及び別紙資料（沖縄版地域療養情報試作版）に基づき、新たに作成予定の地域療養情報の掲載情報についての精査が行われた。その中で以下の内容について情報が追加される事が承認された。（★印については掲載の変更が行われた。）改定版については、7月中に情報収集を行い8月に編集、9月に印刷を開始する予定が事務方より報告された。

患者必携のページ参照の追加項目

1. 高額医療・高額介護合算制度について （P12もしくはP13に追加）
2. 訪問看護ステーション一覧
3. 介護タクシー一覧
4. 重度身体障害者移送サービス事業について （P42の下へ追加）
5. 患者会リスト（オストミー、あけぼの会、ぴんくばんさあ、友声会、宇宙船子宮号、青空会、ゆんたく会 等） 各患者会代表者へ依頼
6. マインドケアおきなわについて

7. ★在宅支援診療所の再調査（実際に24時間体制でおこなっているなど）
（診療時間については各自問い合わせの文言を追記）
8. ★P9 セカンドオピニオン実施施設（実施しているがん腫の追記した方が良い？）
（最新情報については協議会 HP を参照について文言を追記）
9. ★ページの掲載順について
P10 の相談支援センターの連絡先 → P8 へ移動
10. ★P7 北地区医師会病院の掲載について（平成21年度現在と記入）
11. P10 の相談支援センターの連絡先の下に、近隣の相談窓口として P26 のソーシャルワーカー設置病院一覧への案内文を追加する。
12. P26 北地区医師会病院の FAX 番号の追加
13. グリーフケア（心ケア）の相談窓口について

2. がん相談支援員実務者研修会について

資料8に基づき、第3回のがん相談支援員実務者研修会担当者が金城委員、また第4回については西田委員が担当する事が承認された。第4回については、講師として琉大病院緩和ケア認定看護師である棚原陽子氏へ依頼しており、開催場所は琉大病院を予定しているが、再度ワーカー協会へ確認することが報告された。

次回の開催日程について・・・7月13日（火）

今回は、協議会 HP 用の部会委員の集合写真撮影のため全員参加のご協力いただけるよう事務担当者より報告があった。

平成 22 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

- 日 時： 平成 22 年 7 月 13 日（火） 15:00～17:00
- 場 所： 琉球大学医学部附属病院 小会議室
- 出席者： 5 名 田名勉（友声会：患者）、玉城徳正（患者遺族）、
金城尚美（沖縄県立中部病院）、樋口美智子（那覇市立病院）、
西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）
- 欠席者： 5 名 崎浜海里（マインドケアおきなわ）
山川宗貞、前川守秀（沖縄県医務課）、仲村実和子（北部地区医師会病院）
増田昌人（琉球大学医学部附属病院）
- 陪席者： 1 名 城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 22 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

- がん患者ゆんたく会について（6 月）
資料 2-2、2-4 に基づき、6 月に各拠点病院にて開催された中部ゆんたく会及び沖縄がん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。
- がん相談件数
資料 3 に基づき、樋口部会長より 6 月のがん相談件数について報告が行われた。

北部地区医師会病院	<u>未報告</u>
沖縄県立中部病院	<u>2 件</u>
那覇市立病院	<u>5 件</u>
琉大病院	<u>5 件</u>
- 拠点病院相談支援センターポスターについて
資料 4 に基づき、昨年度より作成中であった拠点病院相談支援センターポスターの最終調整が行われ、現在がん診療連携拠点病院である 3 拠点病院のみ掲載することで承認された。広報に関しては北部地区医師会も含む前 4 拠点病院で協力することが承認された。また配布先としては、各市町村役場や各地区福祉保健所、がん診療をおこなっている医療機関、がん相談実務者ネットワーク登録施設などが挙げられた。
- 「緩和ケア情報シート」の運用について
西田委員より既に作成済である「緩和ケア情報シート」の現在の進捗状況については、今週中の発送予定であることが報告され、発送先としてがん診療をおこなっている医療機関（28 施設）、有床診療所、各地区医師会、沖縄県医師会などに広報することが承認された。

また、この情報シートは協議会ホームページ（緩和ケア部会と相談支援部会の両部会ページ）にも掲載することが承認された。

6. 7/4：「相談支援センターの質の向上に関するワークショップ」参加報告
樋口部会長より7月4日に国立がんセンターにて開催された「相談支援センターの質の向上に関するワークショップ」での参加報告が行われた。このワークショップは、全国の拠点病院に設置された相談支援センターをどのように評価するのか検討することを目的とし開催された。その中で先ず、相談支援センターとしての方針を決定し、患者さんへの情報提供を統一化することが重要であると報告された。参考資料としてNPO法人（J-CRSU）のCTIS（cancer telephone information service）がん電話情報センターにて実際に活用されている相談事例評価表（別参考資料）を基に、今後3拠点相談支援センターでも質の評価体制が取り入れられる様、検討していくことが報告された。
7. 自治体病院学会抄録について
金城委員より、10月14日・15日に開催される「第49回全国自治体病院学会」へ、既に抄録を提出済みであることが報告された。
8. 「県民健康フェア」のがん相談支援センター紹介における展示内容、提供グッズ等について
樋口部会長より、9月5日にコンベンションセンター（展示棟）にて開催される「県民健康フェア」にて医療ソーシャルワーカー協会として相談支援センターの紹介展示ブースを出展する予定であり、各拠点病院へ広報等のグッズの提供について協力の依頼があった。
9. 九州MSWおきなわ研修会での演題発表について
樋口部会長より、11月22日に行われる「九州MSWおきなわ研修会」への演題（案）について西田委員へ意見を求めた。
10. 「沖縄がん心のケア研究会」での事例検討会について
樋口部会長より7月10日（土）那覇市立病院にて「沖縄がん心のケア研究会」が開催されたことが報告された。尚、次回は開催8月21日（土）に開催予定である。
11. その他
玉城委員より「With you OKINAWA」が7月10日（日）に開催されたことが報告された。

【協議事項】

1. 「患者必携」改訂版について

参考資料に基づき、西田委員より地域療養情報の改訂版作成にあたっての追加項目と変更箇所について説明がなされ、別紙資料1を基に、承認された。

また、北部地区医師会病院の掲載については、がん診療支援病院として掲載可能か再度県へ確認することが伝えられた。

この改訂版は、9月末の完成を目指し、10月より開始予定の琉大病院患者必携臨床試験開始に向け準備が整う様、作成することが再確認された。

2. 協議会ホームページに「がん相談 Q&A」について

資料5に基づき、協議会ホームページリニューアルに向けて「がん相談 Q&A」のコンテンツの構成について協議され、まずは「福井県がん相談支援室」のホームページを参考に作成することが承認された。がん相談のたたき台としては、がん相談支援センターチラシに記載のある内容から掲載し、順次更新していくことで承認された。

3. 「セカンドオピニオンアンケート」について

既に（平成21年度）4拠点病院にて実施済である、「セカンドオピニオンアンケート」について、現在がん診療を行っている医療機関（28施設）でも調査をおこなうことが承認された。また実施するにあたり、回収率アップのため各医療機関地域連携室へ協力を求めることが承認された。（がん相談実務者ネットワークメーリングリスト上にて依頼する）

4. 「患者・家族会に関するアンケート」について

樋口部会長より、県内のがんに関する患者・家族会について、医療者側がどの程度把握しているのかを図るために、患者会に関する普及啓発活動を兼ねて医療者を対象とした「患者会認識度アンケート調査」を那覇市立病院にて行うことが報告された。実施後、3拠点病院でも実施する方向で検討された。

5. その他

西田委員より、現在掲げている今年度事業計画について、重点的に事業を進めてはどうかとの意見が挙がり、次回の部会にて事業計画の精査を行うことが承認された。

6. 次回の部会日程について

第5回相談支援部会日程については8月12日（木）もしくは17日（火）の2案が候補に挙がり、再度事務担当者よりメーリングリスト上にて日程調整をおこなうことが伝えられた。